

会議の概要

会議の名称	令和元年度第1回茨木市子ども・若者支援地域協議会（代表者会議）
開催日時	令和元年8月2日（金）午後3時30分～午後4時30分
開催場所	茨木市役所南館8階 中会議室
総括	こども政策課長（東井 芳樹）
出席者	<p>【茨木市】 こども政策課長（東井 芳樹）、社会教育振興課長（松本 栄子）、学校教育推進課長（谷 周平）、教育センター指導主事（島田 隆史）、人権・男女共生課長（松山 浩一郎）、子育て支援課参事（浦 佳代）、相談支援課長（竹下 綾子）、生活福祉課長（澤田 信一）、保健医療課長（河崎 一彦）参事（浜本 恭子）</p> <p>【外部機関】 茨木市子ども・若者自立支援センター「くろす」管理者（竹中 辰也）、大阪府立春日丘高等学校（定時制）准校長（下本 隆二）、茨木公共職業安定所長（前橋 秀憲）、三島地域若者サポートステーション総括コーディネーター（安岡 大輝）、茨木市社会福祉協議会事務局次長（樋口 直樹）、大阪府茨木保健所参事兼地域保健課長（西田 伸子）、大阪府茨木少年サポートセンター長（西田 貴裕）、ひきこもり・家族支援ネット代表及び不登校・親の会「いっば」代表代理（上田 幸子）</p> <p>【要保護児童対策地域協議会オブザーバー】 子育て支援課こども相談係長（西浦 輝）</p>
欠席者	<p>【茨木市】 商工労政課長（徳永 嘉朗）</p> <p>【外部機関】 大阪府吹田子ども家庭センター所長（山口 裕司）</p>
案件	<p>(1) 茨木市子ども・若者支援地域協議会の現在までの実績報告と今後の予定について</p> <p>(2) ダイジェスト版「いまこそ、『本当のひきこもり支援』を進めようー孤立を防ぐための『茨木モデル』とはー」について</p> <p>(3) 次世代育成支援行動計画（第4期）策定に向けて</p>
会議の要旨	<p>(1) 茨木市子ども・若者支援地域協議会の現在までの実績報告と今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支援する側・される側の負担軽減」の視点を持ちつつ、子ども・若者への早期支援と早期困難解消を目指して、各専門機関が連携して包括的に支援していくという運営方針を確認した。 ・協議会の会議・取組内容・方向性について、昨年度の実績報告及び今年度の予定確認を行った。 <p>(2) ダイジェスト版「いまこそ、『本当のひきこもり支援』を進めようー孤立を防ぐための『茨木モデル』とはー」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での「茨木モデル」の共有 <ul style="list-style-type: none"> ①孤立防止…当事者とその家族を孤立させない ②早期解消…孤立ケースは連携支援で対応する ③Do It Ourselves (DIO) …無いものは作り、波及させる ・茨木市内における広義のひきこもり者数（推計） 15～39歳…約1200人 40～64歳…約1400人 合計…約2600人 川崎市で起きた無差別殺傷事件、その後起きた事務次官が息子を刺した事件が起きてから、ひきこもり関連の相談件数が非常に伸びていることを報告した。 <p>(3) 次世代育成支援行動計画（第4期）策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援行動計画（第4期）では「未来にはばたく子ども・若者が成長するまち“いばらき”」を基本理念とし、「若者」という言葉が入る予定であること、第3期計画に引き続き、子どもの貧困対策の計画を包含していることを報告した。